

ちゆうじいわ きゆう かつ そ つか たまたまとし そ しほ ちの もの  
仲尼曰く、丘や嘗て楚に使いし、適々狔子の其の死母に食む者  
み しばらく じゆんじやく みな す はし おのれ み  
を見たり。少焉にして眴 若として皆これを棄てて走る。己を見  
るい え はは あい ところ もの  
ざればなり、類を得ざればなり。その母を愛する所の者は、その  
かたち あい あら かたち つか もの あい  
形を愛するに非ず、その形を使う者を愛するなり。別者の履は  
ため おし みなそ もと かたち まった  
為にこれを愛むことなし。皆其の本なければなり。形の全きすら  
なおもつ しか な た しか いわん ぜんとく ひと いま  
猶以て爾りと為すに足る。而るを況んや全徳の人をや。今  
あいたいだ いま い しん こう した ひと  
哀駘它是未だ言わずして信ぜられ、功なくして親しまれ、人をし  
おのれ くに さず ただそ う おそ これかなら さい  
て己に国を授けて、唯其の受けざることを恐れしむ。是必ず才  
まった とく あら もの  
全くして徳の形われざる者なりと。

【大体の意味内容】

こうし こた わたし そ くに ししや まい ぐうぜん こぶた し  
孔子は答えた、「私はかつて楚の国に使者として参りましたが、偶然、子豚たちが死んだ  
ははぶた ちち す み しばらくすると、子豚たちは驚いた表情で、みな  
母豚の乳を吸っているのを見ました。しばらくすると、母が愛する自分たちが映し出されず、乳  
し はは す に き みる はは あい じぶん うつ だ  
死んだ母を棄てて逃げ去りました。その骸には、母が愛する自分たちが映し出されず、乳  
の い じぶん きずな え はは あい じぶん  
を飲んで生きようとする自分たちとの絆を得られなかったからです。つまり母を愛すると  
いうのは、その姿かたちを愛するのではなく、その姿かたちを動かしているモノ、すな  
わち自分への情愛を、求めているのです。足切の刑で失われた足の履物を愛おしむとい  
じぶん じょうあい もと あしきり けい うしな あし はきもの いと か  
うことがないのは、その履物が命を帯びる本体がないからです。姿かたちに欠けたとこ  
ろがない物には、その肉体を機能させる生命が働いているから、心を込めて関わりあえ  
ます。ましてや、完全なる仁徳を備えた人とは、なおさら絆を結びたくなくなるというもの



孔子



老子



プラトン



荘子

です。いま哀駘它は何も言わないのに信用され、何の功績もあげていないのに親愛され、人から一つの国をプレゼントされ、しかも受け取ってくれないことを恐れさせています。これはきっと、様々な才能が完全であるのに、その徳が表に現れない者なのでしょう。」

醜男哀駘它シリーズの2回目。

肉体と精神をはっきりと分ける考え方を、孔子がしていたと述べられているものです。母親としての身体を持つものが本当の母ではなく、子への情愛を発揮するスピリットが本体で、それが「物」はすべて「母」ではないと。逆に肉体はどんなに見苦しく醜いものであっても、仁徳の篤い、つまり高いレベルの精神の持ち主は、人々に好かれ、敬愛されるという主張です。孔子自身がこうした、いわゆる「心身二元論」人間は肉体と、それを支配コントロールする精神とで構成されているという考え方を「を標榜していただければ幸いです」

だが、『論語』『孔子の言行録』、孔子編集とされる『春秋』『書経』『詩経』などから、荘子なりにうまいとめてみたというとなのでしょ。

紀元前500年頃活躍した孔子は、紀元前200年頃の荘子からすれば300年ほど前の偉人ですが、孔子と同じころの老子の思想の方向、荘子は共感していたようです。「老荘思想」と一括して言われるほど、似た傾向の思想が展開されています。なので荘子は、老子と孔子とを対比させる意味でも、孔子を、人間の精神を重視する二元論者として語られているのかと思われま。ちなみに老子や荘子は、宇宙の根源的原理としての「道」とその「徳」を重視した、無為

自然の思想と言えます。人間の外側というよりも、人間をも包括し、生かしている二元的世界観です。

孔子の死後50年ほどのころに、ギリシャでプラトンが生まれ、のちに「イデア論」を展開しています。さっくの見れば、「真の存在（イデア）」と、そのイデアを分けて持っている様々な存在（コップとか人間とか）、という二元論です。証拠も何もありませんが、ユーラシア大陸は地続きですから、ギリシャの情報も中国にも伝わってないとは言えない、荘子がソクラテス、プラトン、アリストテレスの思想を知っていて、「孔子の説明」に利用したかもしれない、そんな妄想を抱かせるような記事でした。

